The page features a minimalist design with three decorative elements: a large blue circle with a white ring at the top right, a smaller blue circle with a white ring in the middle right, and a large blue circle with a white ring at the bottom right. Two thin blue lines intersect at the top left, forming a V-shape that frames the central text.

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 花の園会

令和元年度を振り返って

職員の入れ替えがあり、年度当初は少し大変な面もあったものの、昨年度の様子からは比べ物にならないほど落ち着いた。ミドルマネージャーを元に戻したこともあり、スムーズに事業が進んだ。しかし発達の特徴が強く出ている子が多くなって来たため、支援の方法や体制などは引き続き考えていかなければいけない。

年明けからは新型コロナウイルスによる影響で様々な通知が来る中で対策に追われ、進級進学に向けての時期と重なり大変だった。3月上旬には状況が悪化してきてお別れ遠足をどうするかなど子どもたちにとっての楽しみを中止しなければいけないような場面になってきたが、屋内施設から屋外施設へと変更をして実施できた。3月下旬には袋井市内で感染者が出て休園をするかどうか、卒園式・入園式をどうするかなど重大な判断を迫られた。公立は早々と休園休校と卒業式の中止を決めたが、今回は事前に保護者にどのようなことが起こると休園になるのかなども示されていない中だったので登園自粛を要請し、育休中など自宅保育が可能な家庭には登園をしないようお願いした。また卒園式・入園式については3密を避けるなどの対策を講じた上で実施をした。この対応は保護者から大変喜ばれ、全面的なご協力を頂くことができた。新型コロナウイルスの対応については判断を現場に投げられることが多く、公立は公立で決め、私立は各自判断となっているため子どもにとっては通っている施設の運営主体によって処遇が異なる状況となった。また全国一斉休校の際にも学校は休校として、保育園は開所を求められるなど理解ができないことが多く、現場にはマスクや消毒液も不足しているのにどのように運営していけばよいのか課題を多く感じました。

新型コロナウイルスの影響は次年度にも出ているため、早い終息と経済の回復を願います。

■法人の経営目標 中長期計画に対する取組

ブランディング

職員のブランディング教育

職員の入れ替わりにより十分な教育が実施できなかった

おたよりなどでの入所者家族への広報の充実

例えば「月の制作」と表記されていたところを具体的に何を作るのか、何の歌を歌うのか、クラスの指導計画はどんなものかなど以前よりは内容を充実させたり表記を工夫して家庭に伝わりやすくした。写真やビデオの配信ができていないことに課題を感じる。

インターネットを使った社会への広報の充実

他法人や園と比較してもアドバンテージのあるものを作り上げてきた。認知度も年々上がってきてはいるが、入り口である学生や学校への広報に課題を感じる部分がある。入所希望者に対してはかなり情報をオープンにしているので分かりやすいと好評を得ている。今年度は多忙につき更新頻度が少なくなった。

保育施設の運営

保育の全体的な計画の見直し

見直しを行い職員にも配布を行ったが深い理解ができておらず課題が残る

幼児期の終わりまでに育って欲しい姿（指針）の理解を深める

指針の理解が進んでおらず、アクティブラーニングに寄った行動や言葉がけまでには至っていない部分がある

幼児教育の強化（知育+徳育+体育）

スポーツ教室に加えて二園交流、ちゃいるどすてっぷを実施し、知育（頭）徳育（心）体育（体）が揃った。二園交流については内容を考えるための工程が大変だったためスポーツ教室の中で行った。

未満児保育の強化

十分な職員配置をしたが、チームワークがうまくいかないクラスもあったため人事異動などで対応した。

研修体系の見直しと研修参加数の増加

国の政策もあり研修には力を入れて参加させてきた。職員配置も十分のため割と参加しやすい環境にはなったが、研修会場へ行く必要があるため十分な参加はしづらい。早く配信型などの研修システムが整うことを願う。

マニュアルの作成、維持

改定できたものもあるが、中には古い情報が残ったままのものもあるので引き続き進めていく

開所時間の検討

現在制度上の問題で延長30分の補助金しか出ていない状態で+25分して55分延長を行っている。1時間延長を申請したとしても要件を満たすまでの需要はなく、30分延長として25分短縮しても問題はないように思うため検討を進める。

人材確保

求人者に向けて多数のチャンネルから広報を行う

インターネットを中心に多数のチャンネルから広報を行い人材確保を行っているが、保育者の質は見極める必要がある

園の特色を事前にしっかりと説明することでミスマッチを防ぐ

他園と比較してもかなり入念に説明と見学をしてもらった。業界としての転職の波がおさまってきたのもあり、転職者の質が割と安定してきたように思う。

人事評価を行い、適正な採用サイクルを維持する

園に合う人材が適切に評価されるために評価項目の調整を行ってきたが、評価項目の表現が被評価者が求められている行動について正しく理解できるように説明を継続していく

人材の質を保つため採用基準の適用と適用できるだけの応募者数の確保

応募者数はかなりあるものの選考辞退などで実際に最終選考まで残るのは1/5程度昨年度よりも減っている。主な辞退の理由は悩みながら転職活動をしている中で転職するのをやめるということが多かったので対応しづらい。

保育実習生、ボランティア、職業体験などの積極的な受け入れ

積極的な受け入れを行ってきたが、学生が実習先を決めるのがかなり早い時期のため、実習生が増えたと実感できるほどではない。また地域柄そこまで保育関係の学生が多いところではないため、引き続き積極的に受け入れを行う。

養成校との関係を深める

実習指導で来園した際には都度さまざまな情報を伝えてきた。また出向いて説明なども行っているが、頻繁に情報交換できるほどの関係は築けていないので、さらに深めていく。

発表会の公開

希望者がいればと学校に声を掛けてはいるが、学生まで伝わっているのかどうか分からず、学生も土曜日に足を運ぶことをどう思っているのか分からないため探っていく。今年度は積極的な参加希望者がいなかったため次年度以降は非公開とする。

労働環境

職員の多能工化による職員配置改善

保育士が多く持てるように集約事務や兼務職員などを進めてきたが、特に集約事務に関してはアウトソーシングを活用しても負荷が高く、特に委託費や補助金申請は専門性が高く分散する必要があるがむずかしい。

発表会などの準備を平均化することで負担軽減

発表演目が少なく制作物も少ない未満児クラスの空いた手を以上児クラスに回したり、土曜日に制作物だけに集中できる時間を作るなど工夫した運営を行ってかなり負担を減らすことができた。

仕事量の把握と効率化（壁面の使い回しや連絡ノートの在り方など）

業務報告書を導入し、1日のうちの作業内容を把握した。人によって書き方がバラバラで把握しづらいので統一していく必要はあるが、これにより時間を効率的に使えていない職員が分かるようになったので声を掛けていった。ある程度把握できたので効率化のため廃止した。

ICTなどの活用による効率的な作業

保守の手間のかからないクラウドシステムを基本として導入をしてきた。法人全体として見ると保守の手間がなくなったが、実作業の低減にはつながっていないので、作業時間が短くなるようなものも考えていきたい。今年度は口座振替システムを導入し、集金の手間がなくなった。

収支の最適化による職員配置改善

申請できる補助金はすべて活用し、公益法人として利用できる無料または低額な資源を活用して支出を抑えて職員配置を増やした。

アウトソーシングの活用

今のアウトソーシングを活かしながら、例えばシステムのメンテナンスなども含めたもう一步踏み込んだ部分をお願いできるとかなり楽になってくる。が、システムの要素が強く難しい部分がありソフト変更なども含めて考えていきたい。

組織作り

役職やリーダーなど中間層の育成

育成を積極的に行ってきたが、大きな単位で仕事を振っていてもこなせないことが多く、小さな仕事にしていく必要があるが、マネージャーにそこまでの余裕はなく、集中事務などの体制を見直す必要がある。

人事評価制度の運用をより自法人にフィットするようにカスタマイズしていく

フィットするようにカスタマイズしてきたが、細かい表現を修正する必要があるかもしれない。

仕事の標準化

おおむね共通認識を持ってできるようになってきたが、今まで積み上げてきたものもあるため職員毎に細かいとこ

るはどうしてもばらつきがでてしまう。

保育士のキャリアアップ制度を利用した組織づくり

保育園という特殊な環境のため上司と部下とするのではなく人事評価制度と織り交ぜながら〇〇リーダーのような形で導入している。階層の深い組織となって安定性と専門性が増すことができるように調節していく。

■法人の経営目標 短期計画に対する取組

マニュアル類の整備

業務マニュアルなどより実務的なものは更新をしたが、いまだ古い情報になっているものもあるため今後も少しずつ進めていく。

労務管理の強化

稀に退職間際に言いがかりをつけてくる者もいるため年度当初に就業規則の周知を行った。

業務の効率化

発表会の作り物が特に負荷が高く、子どもに教えながらも衣装や大道具小道具の準備も入ってくる。そのため演目の少ない下の年齢の担任の空いた手を演目の多い上の年齢の担任を手伝うことで負荷を平均化させた。さらに土曜日に作業だけに集中できる時間をつくったためかなり効率的に作業ができ、負荷を大幅に減らすことができた。また完成品の衣装を一部使うことでも効率化できた。

また運動会と発表会の演目を調整して同じような表現遊びが重複しないようにした結果、演目をコンパクトにして、削減できた時間を子どもたちが自分で配役を決めたりする主体的な活動を行うことができた。しかし今年度は試験的な試みだったので次年度以降にさらに深い活動ができるようにしていく。

研修への参加

保育士のキャリアアップ対象研修になるべく参加させたが、気になる子への支援が手薄になったりなどの弊害があり人手の足りないこの業界で研修要件のある処遇改善があることに疑問を感じる。オンラインでの研修体系が整うと質の高い教材を全国一斉に配信でき、隙間時間で受講できるため業界として是非整えてほしい。また知育に関しては3年間を通してぶれないためにすでにあるプログラムを導入し、その研修をテレビ電話で行うことで午睡時間に行うことで無理のない研修ができた。

人材確保の強化

新卒向け

就職説明会への出展と実習を多く受けることで接点を増やした

中途向け

求人チャンネルを複数持ちアプローチしていった

採用基準

保育者としての資質を疑う人材も多くいることが分かったため、確認事項を増やして精度を高めた

2園の連携の取れた運営

交流事業として「徳育」を目標に実施したが、物理的に離れた場所にいるため打ち合わせに難があり、意見の調整が取りづかった。そのためスポーツ教室の中で交流を行うことで解決した。また昨年度の課題としてバスの費用

が高くなってしまったが袋井市社会福祉協議会より無償レンタルができるようになったため有効に活用させて頂くことにした。

幼児教育の周知

いまだに幼稚園は教育、保育園は預かってもらうところのようにとらえている方が多く、おたよりなどでも伝えてきてはいるが文字からはよく読み取れない部分もあるかと思い、3歳以上児は知育プログラム「ちゃいるどすてっぶ」を参観してもらった。遊びの中で学ぶ幼児教育の考え方を理解してもらえたらと思う。

家庭との連携強化

気になる様子やお伝えしたいことのある家庭には面談の個別申し入れを行ってきましたが、「うちの子は問題児」ととらえてしまう方がいたり、「発達障害かもしれない」と悩んでいたが相談できずにいたりしたことがあったので3歳以上児は全員面談を行った。次年度は全クラス面談ができるようにしていきたい。

一時保育事業の推進

一時保育を受け入れられるまでの余裕が生み出せなかったため、必要最小限度の範囲で実施した。

保育ママの支援事業の推進

市の方針で保育ママが廃止となるため今年度が最後となる。昨年度担当職員が2ヶ月の1回の訪問を行っておらず、内科検診の案内もしていなかったため今年度は元の担当に戻して実施した。スムーズに事業が完了した。

小学校接続加算の取得

業務負荷が高く申請までもっていくことができなかった。

給食の統合

統一できるものは統一したが統合に向けて課題が残るため中長期としてとらえていく

保護者向けの子育て関連講話・書籍の充実

書籍をそろえたが時間がないため借りる・読むまでには至っていない。だが興味を持ってくれている人はいる。いつでも身近にあることが大切だと思うので面談などの際にも紹介するなどしていきたい。

■ 理事会開催日

令和元年6月14日（金）

- (1) 平成30年度事業報告および決算報告
- (2) 役員改選について
- (3) 評議員会の招集について

令和元年6月28日（金） みなし議決

- (1) 理事長の選任

令和元年12月19日（木）

- (1) 令和元年度補正予算
- (2) 施設・法人の指導監査の報告
- (3) 就業規則改正の方向性と労働時間把握の強化について

令和2年3月27日（金）

- (1) 令和元年度補正予算
- (2) 令和2年度事業計画及び予算
- (3) 就業規則の変更
- (4) 評議員候補

■ 評議員会開催日

令和元年6月28日（金）

- (1) 理事の重任について
- (2) 平成30年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認

■ 令和元年度監査などの実施

令和元年5月10日 小林会計事務所

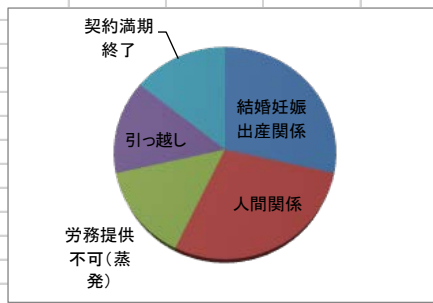
令和元年5月30日 施設「たんぽぽ保育園」の行政指導監査（静岡県）
改善指導事項無し

令和元年5月30日 施設「たんぽぽ第二保育園」の行政指導監査（静岡県）
改善指導事項無し

令和元年6月7日 法人監事による監査

■退職理由の内訳

結婚妊娠出産関係	2
人間関係	2
労務提供不可(蒸発)	1
引越し	1
契約満期終了	1
	7



結婚妊娠出産関係が最多だったが、転職してすぐに妊娠が発覚するなど職業倫理的に疑問に思うことがあった。今年度もケガを理由に診断書を提出しないなど正式な手順を踏まずに出勤しなくなる者がいるなど保育者としての心構えを疑う事例があった。人間関係の項目については本人が主たる原因をつくっており、指導しても気づけないなど新人指導の難しさを感じる事例だった。

■利用(開所)日・利用(開所)時間

たんぼぼ保育園

日曜祝祭日、年始年末を除く日 (ただし土曜日、お盆は希望保育)
7時05分から19時まで 11時間55分

たんぼぼ第二保育園

日曜祝祭日、年始年末を除く日 (ただし土曜日、お盆は希望保育)
7時05分から18時45分まで 11時間40分

子育て支援センターチューリップ

土・日祝祭日、年始年末を除く日 (GW、お盆など一部休業有)
9時30分から16時00分まで 6時間30分

■保育内容

保育課程、年間計画及び保育事業計画に沿って調整を行いながら実施

- ・土曜保育は人数が少ないため引き続き合同で行った。
- ・茶道読み聞かせは第二は5歳児がいないため29年度より隔月で行えるよう調整した。
- ・夏祭り、運動会はそれぞれ別で行った。
- ・スポーツ教室 (体育・徳育【合同実施による二園交流】)、ちゃいるどすてっぷ (知育) を実施し、知育 (頭) 徳育 (心) 体育 (体) の成長を促す幼児教育が揃った。

■職員研修、職員会議、災害訓練、健康診断等予定

- ① 職員研修は研修要領にて実施
- ② 職員会議は毎週1回を基本として実施
- ③ 災害訓練月1回 年間計画に則り実施
- ④ 健康診断、園児年間計画に則り実施

■設備・備品など

たんぽぽ保育園

十分な加配職員を当てて気になる子への支援を行ってきた。家庭との連携も強化し、3歳以上児全家庭への面談を行ったため、園での困り感を伝えることができた。

たんぽぽ第二保育園

将来の大規模修繕などに備え積立金の積み立てを行えるよう予算を執行した。非常用備蓄食料は次年度に購入できるように在庫と必要量を把握して発注準備を行った。

■給食の給与栄養目標量と達成率

たんぽぽ保育園

区分	月	1人1日当たり給与栄養量												
		エネルギー	たんぱく質	脂肪	ナトリウム	カリウム	カルシウム	鉄	ビタミン				食物繊維	食塩
		A	B1	B2	C									
3歳以上児	年間平均	552	19.1	15.3	846	695	196	2.6	182	0.28	0.29	32	3.7	2.1
	給与目標	579	19.3	15.6	748	690	219	2.8	155	0.24	0.28	30	3.8	1.9
	達成率	95%	99%	98%	113%	101%	89%	93%	117%	117%	104%	107%	97%	111%
3歳未満児	年間平均	482	15.7	12.6	727	558	165	2.1	146	0.23	0.24	24	2.9	1.8
	給与目標	486	16.6	13.2	679	606	179	2.1	120	0.23	0.24	26	3.3	1.7
	達成率	99%	95%	95%	107%	92%	92%	100%	122%	100%	100%	92%	88%	106%

たんぽぽ第二保育園

区分	月	1人1日当たり給与栄養量												
		エネルギー	たんぱく質	脂肪	ナトリウム	カリウム	カルシウム	鉄	ビタミン				食物繊維	食塩
		A	B1	B2	C									
3歳以上児	年間平均	532	18.3	14.9	808	680	195	2.6	171	0.27	0.28	30	3.6	2.1
	給与目標	608	22.8	18.2	769	480	259	2.4	201	0.32	0.36	19	4.7	2.0
	達成率	88%	80%	82%	105%	142%	75%	108%	85%	84%	78%	158%	77%	105%
3歳未満児	年間平均	451	14.9	12.4	669	544	162	2.1	137	0.22	0.22	23	2.9	1.7
	給与目標	473	17.7	14.2	678	434	221	2.3	188	0.26	0.29	18	3.9	1.7
	達成率	95%	84%	87%	99%	125%	73%	91%	73%	85%	76%	128%	74%	100%

法人としての給食の質が揃うよう2園の設備やレシピ、献立など標準化を図ってきた。達成率が低い栄養素に関しては今後も課題として取り組んでいきたい。

■苦情解決・ご意見など

たんぽぽ保育園 6月

連絡帳にて園児の兄が昨年度3月上旬に「職員と遊んでいて顔をケガさせられた件で、傷が消えない。学校では傷のある子と言われている。どうしてくれるのか？」と記載があった。当時の状況を確認するため職員や当時の園児数名に聞き取り調査をしたが、すでにけがをしてから数か月経過して年度も替わっているため記憶があやふやで当該職員の「そもそも園児と遊んでおらず、けがをさせたのではなくけがに気づき手当をした」との主張の食い違いについて客観的な事実確認ができなかった。医療機関にもかかっていたためまずは受診をすすめた。けがの治療費については入園説明で保険の範囲内で補償する旨を説明して同意書を頂いているため保険にて対応させて頂く旨と、傷が残って気になるため治療も考えているとのことだったため保険が通らなかった場合は健康保険の適用範囲内で治療費について相談に応じることを伝えた。

たんぽぽ保育園 11月

袋井市を通して「職員が送迎の際に子どもを感情的に叱っている職員がいた。」との内容を受けた。どの職員か特定はできなかったが指導中の職員がいる旨を伝えた。

■地域子育て支援センター利用者数

平成31年度 月別利用状況一覧表							
月	開設日数	利用者数(人)			1日平均(人)		
		子ども	大人	合計	子ども	大人	合計
4月	19	251	232	483	13	12	25.4
5月	19	279	252	531	15	13	27.9
6月	20	317	262	579	16	13	29.0
7月	22	336	296	632	15	13	28.7
8月	18	331	309	640	18	17	35.6
9月	20	270	270	540	14	14	27.0
10月	22	412	294	706	19	13	32.1
11月	19	240	204	444	13	11	23.4
12月	20	253	211	464	13	11	23.2
1月	19	258	213	471	14	11	24.8
2月	18	272	216	488	15	12	27.1
3月	15	91	63	154	6	4	10.3
合計	231	3,310	2,822	6,132	14	12	26.5

相談関係				
月	育児相談	電話相談	問い合わせ	合計
4月	12	0	8	20
5月	9	0	21	30
6月	14	0	18	32
7月	18	1	16	35
8月	3	0	17	20
9月	7	0	6	13
10月	3	0	4	7
11月	7	1	2	10
12月	7	1	0	8
1月	12	0	3	15
2月	3	0	1	4
3月	6	0	3	9
合計	101	3	99	203

平成31年度子育て支援センター利用状況

月	子ども(人)	大人(人)	合計(人)
4月	251	232	483
5月	279	252	531
6月	317	262	579
7月	336	296	632
8月	331	309	640
9月	270	270	540
10月	412	294	706
11月	240	204	444
12月	253	211	464
1月	258	213	471
2月	272	216	488
3月	91	63	154

※事業報告の内容を補足する重要な事項についてはありません。